科目コード	R24217	科目名	物理療法学				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	石倉　英樹						
授業の概要	物理療法について学び、臨床場面で物理療法を使用するために必要な知識を理解する。						

DPとの関連		
	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける	ー
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける	◎
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける	△
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける	△
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください	
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	物理療法の位置づけと意義を理解する。 各物理療法の生理学的作用を理解する。 各物理療法の適応・禁忌を理解する。
履修上の注意事項	物理療法学演習との関連して講義が進行する。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	オリエンテーション、物理療法学概論 ・理学療法における物理療法の位置づけ【石倉】	理学療法プロセスをイメージし、その中での物理療法の位置づけを具体的にしておく。（60分）
2	温熱療法　・温熱エネルギーの概要【石倉】	日常生活における温熱エネルギーの具体的例をイメージしておく。（60分）
3	温熱療法　・ホットパック、パラフィンの各論【石倉】	ホットパック、パラフィンが臨床場面でどのように用いられるか考える。（60分）
4	寒冷療法　・寒冷療法の概要【石倉】	日常生活における寒冷エネルギーの具体的例をイメージしておく。（60分）
5	寒冷療法 ・コールドパック、アイスバッグ、コールドスプレー、クリッカーの各論【石倉	コールドパック、アイスバッグ、コールドスプレー、クリッカーが臨床場面でどのように用いられるか考える。（60分）
6	電磁エネルギーを用いた物理療法　・電磁エネルギーの概要、エネルギー変換熱（マイクロ波、超短波）の各論【石倉】	日常生活における電磁エネルギーの具体的例をイメージしておく。マイクロ波・超短波が臨床場面でどのように用いられるか考える。（60分）
7	電磁エネルギーを用いた物理療法 ・光線療法（赤外線、レーザー、紫外線）の各論【石倉】	赤外線、レーザー、紫外線療法が臨床場面でどのように用いられるか考える。（60分）
8	電磁エネルギーを用いた物理療法 ・電気刺激療法（TENS、NMES）の各論【石倉】	電気刺激療法が臨床場面でどのように用いられるか考える。（60分）
9	力学的エネルギーを用いた物理療法　・力学的エネルギーの概要【石倉】	日常生活における力学的エネルギーの具体的例をイメージしておく。（60分）
10	力学的エネルギーを用いた物理療法 ・超音波、振動刺激、圧迫、牽引の各論【石倉】	超音波、振動刺激、圧迫、牽引療法が臨床場面でどのように用いられるか考える。（60分）
11	水治療法　・水治療法の概要、温浴、冷浴、水中運動療法などの各論【石倉】	水治のエネルギーの具体的例をイメージしておく。水治療法が臨床場面でどのように用いられるか考える。（60分）
12	温熱療法　・寒冷療法の臨床・温熱療法、寒冷療法の生理学的効果【石倉】	温熱・寒冷療法が生体に及ぼす影響をまとめ、考える。（60分）
13	電磁エネルギーを用いた物理療法の臨床 ・電磁エネルギーを用いた物理療法の生理学的効果【石倉】	電磁エネルギーが生体に及ぼす影響をまとめ、考える。（60分）
14	力学的エネルギーを用いた物理療法、水治療法の臨床 ・力学的エネルギーを用いた物理療法、水治療法の生理学的効果【石倉】	力学的エネルギー、水治療法が生体に及ぼす影響をまとめ、考える。（60分）
15	総括　・各物理療法のまとめ【石倉】	今までの講義をまとめ、復習しておく。（60分）

成績評価方法	期末試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	物理療法学テキスト　改訂第3版（南江堂）	978-4-524-25179-7
参考書	Crosslink 理学療法学テキスト　物理療法学（メジカルビュー社）	978-4758320061
	エビデンスから身につける物理療法（羊土社）	978-4758102216

教員からのメッセージ	物理療法による生理学的効果を理解するために、生理学や解剖学の知識が重要となる。生理学・解剖学で学ぶ知識と併せて理解するようにすると良い。
教員との連絡方法	オフィスアワーを活用すること
実務経験のある教員	病院や施設での理学療法士としての臨床経験を基に、物理療法について講義を行う。